

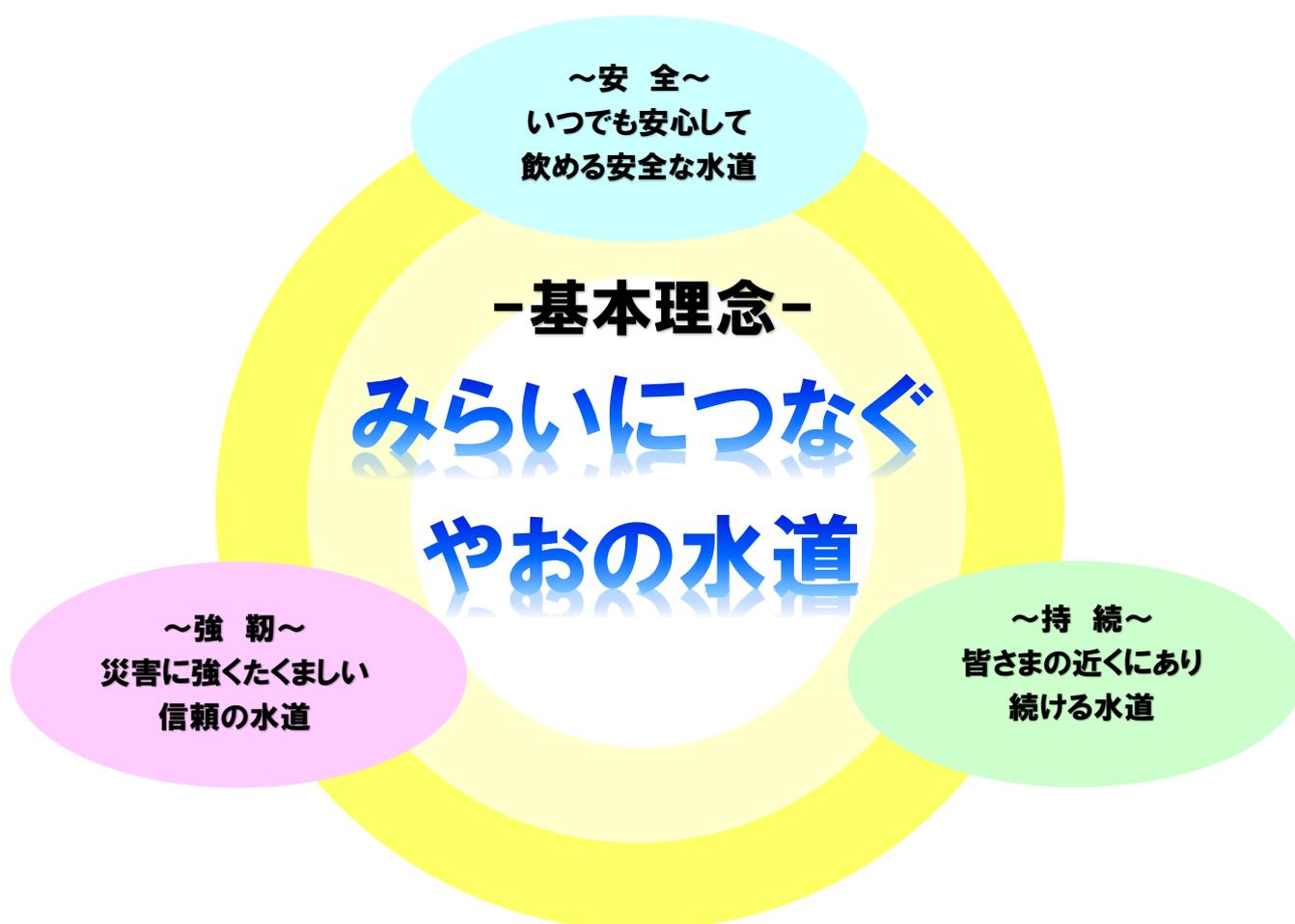
第4章

八尾市の水道の理想像と目標設定

1. 理想像の設定

これからの水道事業は、水需要の減少に伴って料金収入の減少が継続する一方で、水道施設の更新や耐震化対策など多額の投資や多くの人員が必要な見通しであり、厳しい事業環境にあります。

このような事業環境においても、安全で、強靱かつ持続可能な水道をめざして、基本理念と基本目標を定め、水道事業の基盤強化を図ります。



SDGs(持続可能な開発目標)

「みらいにつなぐ やおの水道」の基本理念の実現に向けた取り組みは、SDGsの達成に向けた取り組みに通じます。主に目標6のテーマ「すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」のターゲット 6.1「2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。」にあるように安全で安心な水の安定供給の維持に取り組めます。

2. 目標の設定

基本理念「**みらいにつなぐ やおの水道**」を達成するために、国の定める「安全」、「強靱」、「持続」の観点を踏まえて3つの基本目標を設定します。さらに各基本目標において、取り組むべき施策を設定します。

基本理念

みらいにつなぐ やおの水道

安全

いつでも安心して飲める安全な水道

1-1 給水装置における水質保持

1-2 水質管理の充実

1-3 鉛製給水管の解消

強靱

災害に強くたくましい信頼の水道

2-1 災害・防災対策の強化（強靱編）

2-2 水道施設の計画的更新（強靱編）

持続

皆さまの近くにある続ける水道

3-1 災害・防災対策の強化（持続編）

3-2 環境に配慮した事業運営

3-3 技術継承と人材育成

3-4 収入と支出のバランスのとれた事業運営

3-5 水道施設の計画的更新（持続編）

3-6 積極的な情報提供・お客さまとの協働